

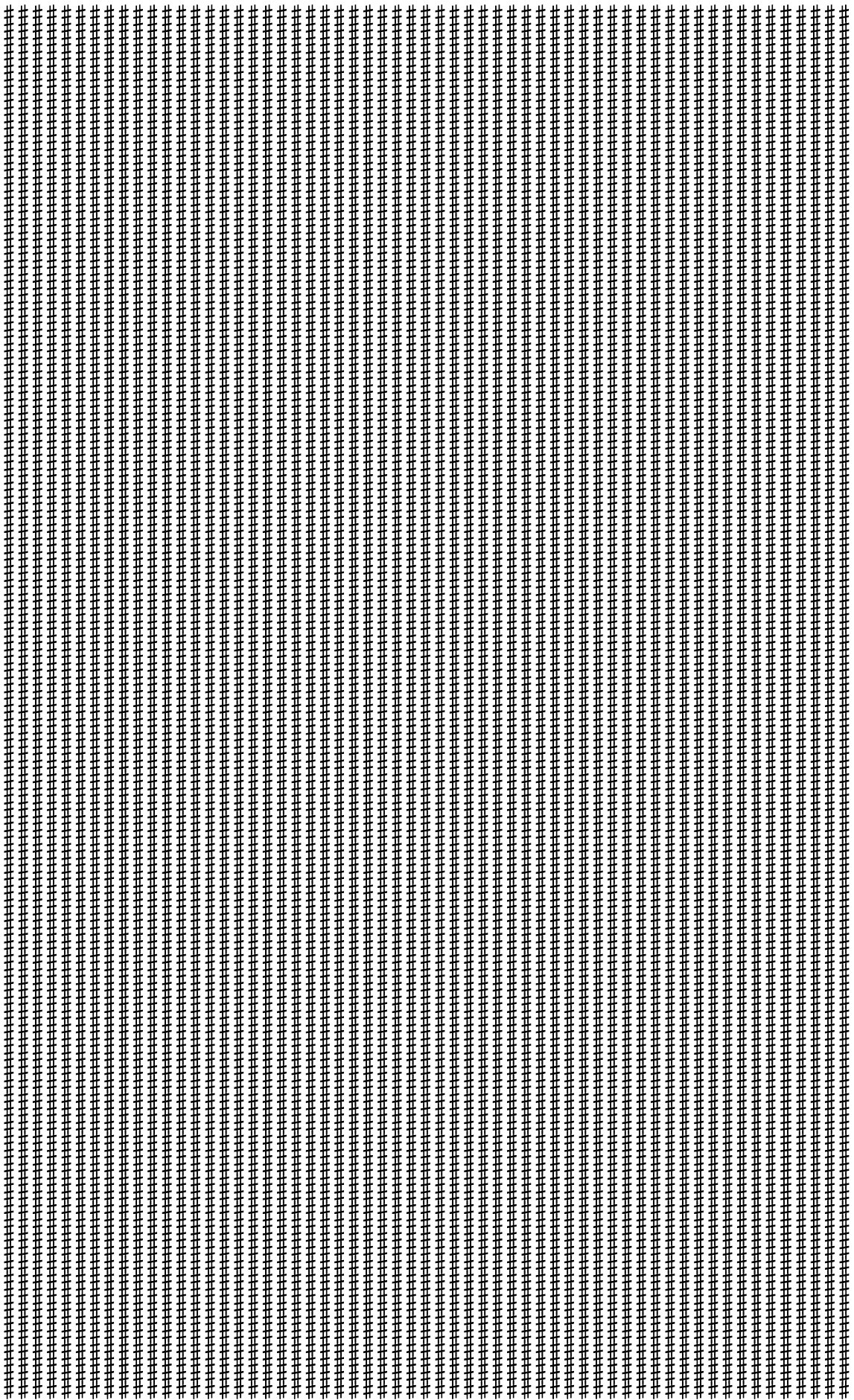
令和3年度  
関西広域連合 毒物劇物取扱者試験問題  
【 特定品目 】

注 意 事 項

試験開始の指示があるまで、試験問題を開かないでください。

- 1 試験問題は50問あります。試験時間は2時間です。
- 2 解答用紙（マークシート）に記入されている受験番号が受験票記載の受験番号と一致しているかを確認し、一致していれば解答用紙に氏名、フリガナを正確に記入してください。また、解答用紙に記入されている試験種別が受験票記載の試験種別と一致しているか確認してください。
- 3 解答は、五肢択一となっています。必ず解答用紙に1つだけマークしてください。2つ以上マークすると、その解答は無効になります。
- 4 記入は、すべてHBの黒鉛筆又はシャープペンシルを使用し、解答用紙に記載の「マークの仕方」の（良い例）のとおり濃くはつきりと記入してください。
- 5 解答用紙に誤ってマークしたときは、消しゴムできれいに消してください。
- 6 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
- 7 解答用紙は持ち帰らないで、必ず提出してください。
- 8 試験時間は2時間です。試験開始から1時間は退室できません。1時間を経過してから退室する方は、解答用紙の氏名と受験番号を再度確認し、試験監督者に提出してから、静かに退室してください。一度退室すると再入室はできません。
- 9 試験終了前10分間は退室できません。
- 10 受験票と試験問題は、持ち帰ってください。
- 11 設問中、特に規定しない限り、「法」は「毒物及び劇物取締法」、「政令」は「毒物及び劇物取締法施行令」、「省令」は「毒物及び劇物取締法施行規則」とします。また、設問中の物質の性状は、特に規定しない限り常温常圧におけるものとしします。

試験会場では静粛にし、試験監督者の指示に従ってください。  
不正行為や試験監督者の指示に従わないときは、退場を命じ、受験を無効とする場合があります。



[毒物及び劇物に関する法規]

問 1

次の記述は、法第 1 条の条文である。( ) の中に入れるべき字句を 1～5 から一つ選べ。

(目的)

第 1 条 この法律は、毒物及び劇物について、( ) ことを目的とする。

- 1 公衆衛生の向上及び増進に寄与する
- 2 濫用による保健衛生上の危害を防止する
- 3 譲渡、譲受、所持等について必要な取締を行う
- 4 国民の健康の保持に寄与する
- 5 保健衛生上の見地から必要な取締を行う

問 2

次の記述は、法第 2 条第 1 項の条文である。( ) の中に入れるべき字句の正しい組合せを下表から一つ選べ。

この法律で「毒物」とは、別表第一に掲げる物であつて、( a )及び( b )以外のものをいう。

	a	b
1	医薬品	化粧品
2	医薬品	医薬部外品
3	医薬部外品	化粧品
4	医薬部外品	指定薬物
5	化粧品	指定薬物

問3

毒物劇物営業者に関する記述の正誤について、正しい組合せを下表から一つ選べ。

- a 毒物又は劇物の製造業の登録を受けた者は、毒物又は劇物を販売又は授与の目的で輸入することができる。
- b 毒物又は劇物の輸入業の登録を受けた者は、その輸入した毒物又は劇物を、他の毒物劇物営業者に販売し、授与し、又はこれらの目的で貯蔵し、運搬し、若しくは陳列することができる。
- c 薬局の開設者は、毒物又は劇物の販売業の登録を受けなくても、毒物又は劇物を販売することができる。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	誤
4	正	正	誤
5	誤	誤	正

問4

法第3条の2に基づく、特定毒物に関する記述の正誤について、正しい組合せを下表から一つ選べ。

- a 特定毒物研究者のみが、特定毒物を製造することができる。
- b 特定毒物研究者は、特定毒物を学術研究以外の用途に供してはならない。
- c 特定毒物研究者又は特定毒物使用者のみが、特定毒物を所持することができる。
- d 特定毒物使用者は、その使用することができる特定毒物以外の特定毒物を譲り受けてはならない。

	a	b	c	d
1	誤	正	誤	正
2	誤	正	正	正
3	正	誤	正	誤
4	正	誤	正	正
5	誤	正	誤	誤

問5

次の記述は、法第3条の3及び政令第32条の2の条文である。( )の中に入れるべき字句の正しい組合せを下表から一つ選べ。

法第3条の3

興奮、幻覚又は( a )の作用を有する毒物又は劇物(これらを含む。)であつて政令で定めるものは、みだりに( b )し、若しくは吸入し、又はこれらの目的で所持してはならない。

政令第32条の2

法第3条の3に規定する政令で定める物は、トルエン並びに酢酸エチル、トルエン又は( c )を含むシンナー(塗料の粘度を減少させるために使用される有機溶剤をいう。)、接着剤、塗料及び閉そく用又はシーリング用の充てん料とする。

	a	b	c
1	催眠	摂取	メタノール
2	催眠	使用	メタノール
3	催眠	使用	エタノール
4	麻酔	摂取	メタノール
5	麻酔	使用	エタノール

問6

次のうち、法第3条の4で「業務その他正当な理由による場合を除いては、所持してはならない。」と規定されている、「引火性、発火性又は爆発性のある毒物又は劇物」として、政令で定める正しいものの組合せを1～5から一つ選べ。

- a 亜塩素酸ナトリウム30%を含む製剤
- b アリルアルコール
- c ピクリン酸
- d 亜硝酸カリウム

- 1 (a、b)    2 (a、c)    3 (a、d)    4 (b、d)    5 (c、d)

問 7

毒物又は劇物の製造業、輸入業又は販売業の申請及び登録に関する記述の正誤について、正しい組合せを下表から一つ選べ。

- a 毒物又は劇物の製造業、輸入業又は販売業の登録は、製造所、営業所又は店舗ごとに、その製造所、営業所又は店舗の所在地の都道府県知事（販売業にあってはその店舗の所在地が、保健所を設置する市又は特別区の区域にある場合においては、市長又は区長。）が行う。
- b 毒物又は劇物の製造業の登録は、6年ごとに、更新を受けなければ、その効力を失う。
- c 毒物又は劇物の販売業の登録の更新は、登録の日から起算して6年を経過した日から30日以内に、申請する。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

問 8

次の記述は、毒物劇物取扱責任者に関する、法第8条第2項の条文の一部である。（ ）の中に入れるべき字句の正しい組合せを下表から一つ選べ。

次に掲げる者は、前条の毒物劇物取扱責任者となることができない。

- 一 ( a ) 歳未満の者
- 二 (省略)
- 三 麻薬、( b )、あへん又は覚せい剤の中毒者
- 四 毒物若しくは劇物又は薬事に関する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終り、又は執行を受けることがなくなつた日から起算して ( c ) を経過していない者

	a	b	c
1	18	向精神薬	2年
2	18	大麻	3年
3	20	向精神薬	3年
4	20	大麻	2年
5	18	大麻	2年

問 9

毒物劇物取扱責任者に関する記述の正誤について、正しい組合せを下表から一つ選べ。

- a 毒物劇物販売業者は、毒物劇物取扱責任者を変更したときは、その店舗の所在地の都道府県知事（その店舗の所在地が、保健所を設置する市又は特別区の区域にある場合においては、市長又は区長。）に30日以内に、その毒物劇物取扱責任者の氏名を届け出なければならない。
- b 一般毒物劇物取扱者試験に合格した者は、農業用品目販売業の店舗において、毒物劇物取扱責任者になることができない。
- c 特定品目毒物劇物取扱者試験に合格した者は、法令で定める特定品目の毒物若しくは劇物のみを取り扱う輸入業の営業所若しくは特定品目販売業の店舗においてのみ、毒物劇物取扱責任者になることができる。
- d 毒物又は劇物を取り扱う製造所、営業所又は店舗において、毒物又は劇物を直接に取り扱う業務に2年以上従事した経験があれば、毒物劇物取扱責任者になることができる。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	誤	誤	正	正
3	誤	正	誤	正
4	正	正	誤	誤
5	正	誤	正	誤

問 1 0

法第 9 条及び第 1 0 条に規定されている、毒物劇物業者が行う手続に関する記述の正誤について、正しい組合せを下表から一つ選べ。

- a 毒物劇物業者は、氏名又は住所（法人にあっては、その名称又は主たる事務所の所在地）を変更したときは、3 0 日以内にその旨を届け出なければならない。
- b 毒物又は劇物の製造業者又は輸入業者は、登録を受けた毒物又は劇物以外の毒物又は劇物を製造し、又は輸入したときは、3 0 日以内にその旨を届け出なければならない。
- c 毒物劇物業者は、毒物又は劇物の製造所、営業所又は店舗における営業を廃止したときは、3 0 日以内にその旨を届け出なければならない。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	正	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	誤

問 1 1

次の記述は、毒物又は劇物の取扱に関する、法第 1 1 条第 4 項及び省令第 1 1 条の 4 の条文である。（ ）の中に入れるべき字句の正しい組合せを下表から一つ選べ。

法第 1 1 条第 4 項

毒物劇物業者及び特定毒物研究者は、毒物又は厚生労働省令で定める劇物については、その容器として、（ a ）を使用してはならない。

省令第 1 1 条の 4

法第 1 1 条第 4 項に規定する劇物は、（ b ）とする。

	a	b
1	密閉できない構造の物	すべての劇物
2	衝撃に弱い構造の物	常温・常圧下で液体の劇物
3	飲食物の容器として通常使用される物	すべての劇物
4	密閉できない構造の物	興奮、幻覚作用のある劇物
5	飲食物の容器として通常使用される物	常温・常圧下で液体の劇物



問 1 2

毒物又は劇物の表示に関する法の規定に基づく、次の記述の正誤について、正しい組合せを下表から一つ選べ。

- a 毒物劇物営業者は、劇物の容器及び被包に、「医薬用外」の文字及び白地に赤色をもって「劇物」の文字を表示しなければならない。
- b 特定毒物研究者は、毒物の容器及び被包に、「医薬用外」の文字及び黒地に白色をもって「毒物」の文字を表示しなければならない。
- c 毒物劇物営業者は、劇物を貯蔵し、又は陳列する場所に、「医薬用外」の文字及び「劇物」の文字を表示しなければならない。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	正	誤

問 1 3

省令第 1 1 条の 6 に基づき、毒物又は劇物の製造業者が製造した硫酸を含有する製剤たる劇物（住宅用の洗浄剤で液体状のものに限る。）を販売する場合、取扱及び使用上特に必要な表示事項として、その容器及び被包に表示が定められているものの正誤について、正しい組合せを下表から一つ選べ。

- a 小児の手の届かないところに保管しなければならない旨
- b 皮膚に触れた場合には、石けんを使ってよく洗うべき旨
- c 使用の際、手足や皮膚、特に眼にかからないように注意しなければならない旨

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

問 1 4

法第 1 3 条に基づく、特定の用途に供される毒物又は劇物の販売等に関する記述の正誤について、正しい組合せを下表から一つ選べ。

- a 硫酸亜鉛を含有する製剤たる劇物については、あせにくい黒色で着色したものでなければ、農業用として販売し、又は授与してはならない。
- b 磷化亜鉛<sup>りん</sup>を含有する製剤たる劇物については、あせにくい黒色で着色したものでなければ、農業用として販売し、又は授与してはならない。
- c 硫酸ニコチンを含有する製剤たる毒物については、省令で定める方法により着色したものでなければ、農業用として販売し、又は授与してはならない。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	正	正

問 1 5

次の記述は、法第 1 4 条第 1 項の条文である。( )の中に入れるべき字句の正しい組合せを下表から一つ選べ。なお、複数箇所の( a )内には、同じ字句が入る。

毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を他の毒物劇物営業者に販売し、又は( a )したときは、その都度、次に掲げる事項を書面に記載しておかなければならない。

- 一 毒物又は劇物の名称及び( b )
- 二 販売又は( a )の年月日
- 三 譲受人の氏名、( c )及び住所(法人にあつては、その名称及び主たる事務所の所在地)

	a	b	c
1	授与	数量	年齢
2	授与	含量	年齢
3	譲受	含量	職業
4	譲受	含量	年齢
5	授与	数量	職業

問 1 6

法第 1 5 条に規定されている、毒物又は劇物の交付の制限等に関する記述の正誤について、正しい組合せを下表から一つ選べ。

- a 毒物劇物営業者は、トルエンを麻薬、大麻、あへん又は覚せい剤の中毒者に交付してはならない。
- b 毒物劇物営業者は、ナトリウムの交付を受ける者の氏名及び職業を確認した後でなければ、交付してはならない。
- c 毒物劇物営業者は、ナトリウムの交付を受ける者の確認に関する事項を記載した帳簿を、最終の記載をした日から 6 年間、保存しなければならない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	誤	誤	正
3	誤	正	正
4	正	誤	誤
5	正	正	正

問 1 7

政令第 4 0 条の 5 に規定されている、水酸化ナトリウム 2 0 % を含有する製剤で液体状のものを、車両 1 台を使用して、1 回につき 7, 0 0 0 k g 運搬する場合の運搬方法に関する記述について、正しいものの組合せを 1 ~ 5 から一つ選べ。

- a 2 人で運転し、3 時間ごとに交代し、1 2 時間後に目的地に着いた。
- b 交替して運転する者を同乗させず、1 人で連続して 5 時間運転後に 1 時間休憩をとり、その後 3 時間運転して目的地に着いた。
- c 車両に、保護手袋、保護長ぐつ、保護衣及び保護眼鏡を 1 人分備えた。
- d 車両には、運搬する劇物の名称、成分及びその含量並びに事故の際に講じなければならない応急の措置の内容を記載した書面を備えた。

- 1 ( a 、 b )    2 ( a 、 c )    3 ( a 、 d )    4 ( b 、 c )    5 ( c 、 d )

問 1 8

法第 1 7 条に規定されている、毒物又は劇物の事故の際の措置に関する記述について、正しいものの組合せを 1 ～ 5 から一つ選べ。

- a 毒物劇物営業者は、取り扱っている劇物が流出し、多数の者に保健衛生上の危害が生ずるおそれがある場合、直ちに、その旨を保健所、警察署又は消防機関に届け出なければならない。
- b 毒物劇物製造業者は、取り扱っている劇物が漏れた場合において、保健衛生上の危害を防止するために必要な応急の措置を講じなければならない。
- c 毒物劇物製造業者が貯蔵していた劇物が盗難にあった場合、毒物が含まれていなければ、警察署への届出は不要である。
- d 毒物又は劇物の業務上取扱者は、取り扱っている劇物が染み出し、不特定の者に保健衛生上の危害が生ずるおそれがある場合でも、保健所、警察署又は消防機関への届出は不要である。

- 1 (a、b) 2 (a、c) 3(a、d) 4 (b、d) 5 (c、d)

問 1 9

次の記述は、法第 1 8 条第 1 項の条文である。( ) の中に入れるべき字句の正しい組合せを下表から一つ選べ。

( a ) は、( b ) 必要があると認めるときは、毒物劇物営業者若しくは特定毒物研究者から必要な報告を徴し、又は薬事監視員のうちからあらかじめ指定する者に、これらの者の製造所、営業所、店舗、研究所その他業務上毒物若しくは劇物を取り扱う場所に立ち入り、帳簿その他の物件を検査させ、関係者に質問させ、若しくは試験のため必要な最小限度の分量に限り、毒物、劇物、第 1 1 条第 2 項の政令で定める物若しくはその疑いのある物を( c ) させることができる。

	a	b	c
1	都道府県知事	保健衛生上	収去
2	厚生労働大臣	保健衛生上	検査
3	厚生労働大臣	犯罪捜査上	収去
4	厚生労働大臣	犯罪捜査上	検査
5	都道府県知事	犯罪捜査上	収去

問20

法第22条第1項に規定されている、業務上取扱者の届出が必要な事業について、正しいものの組合せを1～5から一つ選べ。

- a 無機水銀化合物たる毒物及びこれを含有する製剤を取り扱う、電気めっきを行う事業
- b 無機シアン化合物たる毒物及びこれを含有する製剤を取り扱う、金属熱処理を行う事業
- c 砒<sup>ひ</sup>素化合物たる毒物及びこれを含有する製剤を取り扱う、ねずみの駆除を行う事業
- d 砒<sup>ひ</sup>素化合物たる毒物及びこれを含有する製剤を取り扱う、しろありの防除を行う事業

1 (a、b) 2 (a、c) 3(a、d) 4 (b、d) 5 (c、d)

[基礎化学]

問 2 1

Al (アルミニウム)、Cu (銅)、K (カリウム)、Pb (鉛) をイオン化傾向の大きいものから順に並べたものとして、正しいものを 1～5 から一つ選べ。

- 1 Al > K > Cu > Pb
- 2 Al > K > Pb > Cu
- 3 Al > Pb > K > Cu
- 4 K > Al > Pb > Cu
- 5 K > Cu > Al > Pb

問 2 2

互いが同素体である正しいものの組合せを 1～5 から一つ選べ。

- a 赤リンと黄リン
- b 一酸化炭素と二酸化炭素
- c ダイヤモンドと黒鉛
- d メタノールとエタノール

- 1 (a、b)    2 (a、c)    3 (a、d)    4 (b、d)    5 (c、d)

問 2 3

塩化ナトリウム 234.0 g を水に溶かして 2.0 L の水溶液をつくった。この溶液のモル濃度は何 mol/L か。最も近い値を 1～5 から一つ選べ。

ただし、Na の原子量を 23.0、Cl の原子量を 35.5 とする。

- 1 1.0
- 2 2.0
- 3 3.0
- 4 4.0
- 5 5.0

問 2 4

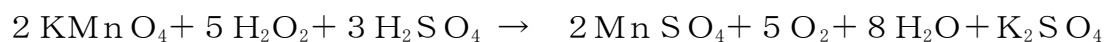
次のマグネシウムに関する記述について、( ) の中に入れるべき字句の正しい組合せを下表から一つ選べ。

マグネシウム原子は、原子核に 1 2 個の陽子があり、電子殻に ( a ) 個の電子がある。最外殻から 2 個の電子が放出されると、電子配置は貴ガス (希ガス) の ( b ) 原子と同じになり、安定になる。この時、陽子に比べて電子数が 2 個 ( c ) なり、2 価の陽イオンであるマグネシウムイオンになる。

	a	b	c
1	1 2	ネオン	少なく
2	1 2	アルゴン	少なく
3	1 4	ヘリウム	多く
4	2 0	アルゴン	多く
5	2 0	ネオン	少なく

問 2 5

濃度がわからない過酸化水素水 20.0 mL に希硫酸を加えて酸性とし、これに 0.0400 mol/L の過マンガン酸カリウム水溶液を滴下していくと、10.0 mL 加えたところで、過マンガン酸カリウムの赤紫色が消失しなくなり、溶液が薄い赤紫色になった。この過酸化水素水の濃度は何 mol/L になるか。最も近い値を 1～5 から一つ選べ。なお、硫酸酸性下での過酸化水素水と過マンガン酸カリウム水溶液の反応は、次の化学反応式で表されるものとする。



- 1 0.0100
- 2 0.0200
- 3 0.0250
- 4 0.0500
- 5 0.100

問 2 6

次の気体の性質に関する記述について、正しいものの組合せを 1～5 から一つ選べ。

- a 温度が一定のとき、一定物質量の気体の体積は圧力に比例する。
- b 圧力が一定のとき、一定物質量の気体の体積は絶対温度に比例する。
- c 混合気体の全圧は、各成分気体の分圧の和に等しい。
- d 実在気体は、低温・高圧の条件下では理想気体に近いふるまいをする。

1 (a、b)    2 (a、d)    3 (b、c)    4 (b、d)    5 (c、d)

問 2 7

次の化学反応及びその速さ（反応速度）に関する記述について、誤っているものを 1～5 から一つ選べ。

- 1 一般に、反応物の濃度が大きいほど、反応速度は小さくなる。
- 2 一般に、固体が関係する反応では、固体の表面積を大きくすると、反応速度は大きくなる。
- 3 反応速度は、温度以外の条件が一定のとき、温度が高くなると、大きくなる。
- 4 反応の前後で物質自体は変化せず、反応速度を大きくする物質を触媒という。
- 5 反応物を活性化状態（遷移状態）にするのに必要な最小のエネルギーを、その反応の活性化エネルギーという。

問 2 8

次のコロイドに関する記述について、正しいものの組合せを 1～5 から一つ選べ。

- a 気体、液体、固体の中に、ほかの物質が直径 1～数百 <sup>ナノメートル</sup> nm 程度の大きさの粒子となって分散している状態をコロイドという。
- b 疎水コロイドに少量の電解質を加えたとき、沈殿が生じる現象を塩析という。
- c コロイド溶液では、熱運動によって分散媒分子が不規則にコロイド粒子に衝突するために、コロイド粒子が不規則な運動をする。これをブラウン運動という。
- d 透析は、コロイド粒子が半透膜を透過できる性質を利用している。

1 (a、b)    2 (a、c)    3 (a、d)    4 (b、d)    5 (c、d)



問 2 9

次の反応熱に関する記述の正誤について、正しい組合せを下表から一つ選べ。

- a 燃焼熱とは、物質 1 mol が完全に燃焼するときの反応熱で、すべて発熱反応である。
- b 生成熱とは、化合物 1 mol がその成分元素の単体から生成するときの反応熱で、すべて発熱反応である。
- c 化学反応式の右辺に反応熱を書き加え、両辺を等号 (=) で結んだ式を、熱化学方程式という。

	a	b	c
1	誤	正	誤
2	正	正	正
3	誤	正	正
4	正	誤	正
5	正	誤	誤

問 3 0

次の物質のうち、共有結合を形成しない物質を、1～5から一つ選べ。

- 1 二酸化ケイ素
- 2 アンモニア
- 3 二酸化炭素
- 4 塩化水素
- 5 カリウム

問3 1

次の水素に関する記述について、( ) の中に入れるべき字句の正しい組合せを下表から一つ選べ。

水素は、無色、無臭で、すべての物質の中で単体の密度が最も ( a )。また、水に溶けにくいので、水素を発生させる際には ( b ) で捕集する。水素は、貴ガス (希ガス) を除くほとんどの元素と反応して化合物を作る。NH<sub>3</sub>、H<sub>2</sub>O、HFなどがあり、これらの水素化合物は、周期表で右へ行くほど酸性が ( c ) なる。

	a	b	c
1	大きい	水上置換	弱く
2	大きい	下方置換	強く
3	小さい	水上置換	強く
4	小さい	水上置換	弱く
5	小さい	下方置換	弱く

問3 2

次の窒素とその化合物に関する一般的な記述について、誤っているものを 1～5 から一つ選べ。

- 1 窒素は、無色、無臭の気体で、空気中に体積比で約 78% 含まれる。
- 2 アンモニアは、工業的には触媒を用いて、窒素と水素から合成される。
- 3 一酸化窒素は、水に溶けやすい赤褐色の気体である。
- 4 二酸化窒素は、一酸化窒素が空気中で速やかに酸化されて生成する。
- 5 硝酸は光や熱で分解しやすいので、褐色のびんに入れ冷暗所に保存する。

問 3 3

次のアルコールに関する一般的な記述について、誤っているものを1～5から一つ選べ。

- 1 メタノールは、水と任意の割合で混じり合う。
- 2 エタノールは、酵母によるグルコース（ブドウ糖）のアルコール発酵によって得られる。
- 3 エチレングリコール（1, 2-エタンジオール）は、粘性のある不揮発性の液体で、自動車エンジン冷却用の不凍液に用いられる。
- 4 グリセリン（1, 2, 3-プロパントリオール）は、油脂を水酸化ナトリウム水溶液でけん化することで得られる。
- 5 第二級アルコールは、酸化されるとカルボン酸になる。

問 3 4

次の芳香族化合物に関する記述について、正しいものを1～5から一つ選べ。

- 1 トルエンは、ベンゼンの水素原子1個をヒドロキシ基で置換した化合物である。
- 2 ナフタレンは、2個のベンゼン環が一辺を共有した構造を持つ物質であり、用途のひとつとして防虫剤がある。
- 3 フェノールは、石炭酸とも呼ばれ、その水溶液は炭酸よりも強い酸性を示す。
- 4 安息香酸の水溶液は、塩酸と同程度の酸性を示す。
- 5 サリチル酸は、分子中に $-\text{COOH}$ と $-\text{NH}_2$ の両方を持っている。

問35

イオン交換樹脂に関する記述について、( )の中に入れるべき字句の正しい組合せを下表から一つ選べ。なお、複数箇所の( b )内には、同じ字句が入る。

溶液中のイオンを別のイオンと交換するはたらきをもつ合成樹脂を、イオン交換樹脂という。スルホ基(  $-\text{SO}_3\text{H}$  )を導入したものは、陽イオン交換樹脂といい、これに塩化ナトリウム(  $\text{NaCl}$  )水溶液を通すと、水溶液中の( a )が樹脂中の( b )と置換され、( b )が放出される。そのため、溶液は( c )になる。

	a	b	c
1	$\text{Na}^+$	$\text{H}^+$	酸性
2	$\text{Na}^+$	$\text{H}^+$	塩基性
3	$\text{Na}^+$	$\text{OH}^-$	酸性
4	$\text{Cl}^-$	$\text{OH}^-$	酸性
5	$\text{Cl}^-$	$\text{OH}^-$	塩基性

[毒物及び劇物の性質、貯蔵、識別及びその他取扱方法]

- 「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」及び「毒物及び劇物の運搬事故時における応急措置に関する基準」は、それぞれ厚生省（現厚生労働省）から通知されたものをいう。

問 3 6

次のうち、「毒物劇物特定品目販売業者」が販売できるものはいくつあるか。正しいものを1～5から一つ選べ。

- a 水素化アンチモン
- b 弗<sup>ふつ</sup>化水素
- c 塩基性酢酸鉛
- d 硝酸20%を含有する製剤
- e クロム酸カリウム20%を含有する製剤

1 1つ      2 2つ      3 3つ      4 4つ      5 5つ

問 3 7

次のうち、劇物に該当するものとして、正しいものの組合せを1～5から一つ選べ。

- a 蓚<sup>しゅう</sup>酸8%を含有する製剤
- b 水酸化ナトリウム8%を含有する製剤
- c アンモニア8%を含有する製剤
- d 硅<sup>けい</sup>弗<sup>ふつ</sup>化ナトリウム

1 (a、b)    2 (a、c)    3 (a、d)    4 (b、d)    5 (c、d)

問 3 8

「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に基づく、過酸化水素、ホルムアルデヒド及びキシレンの廃棄方法について、正しい組合せを下表から一つ選べ。

	過酸化水素	ホルムアルデヒド	キシレン
1	中和法	希釈法	希釈法
2	還元法	酸化法	燃焼法
3	還元法	希釈法	燃焼法
4	希釈法	還元法	希釈法
5	希釈法	酸化法	燃焼法

問 3 9

「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に基づく、重クロム酸カリウムの廃棄方法に関する記述について、( ) の中に入れるべき字句の正しい組合せを下表から一つ選べ。

重クロム酸カリウムを ( a ) に溶かし、クロム酸を遊離させ、硫酸鉄(Ⅱ) (硫酸第一鉄) の水溶液を過剰に用いて ( b ) した後、水酸化カルシウム (消石灰) や炭酸ナトリウム (ソーダ灰) の水溶液で処理し、水酸化クロム(Ⅲ) として沈殿ろ過する。溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して ( c ) する。

	a	b	c
1	水酸化カリウム水溶液	還元	埋立処分
2	水酸化カリウム水溶液	酸化	焼却処分
3	水酸化カリウム水溶液	還元	焼却処分
4	希硫酸	還元	埋立処分
5	希硫酸	酸化	焼却処分

問 4 0

「毒物及び劇物の運搬事故時における応急措置に関する基準」に基づく、次の物質の飛散又は漏えい時の措置として、該当する物質名との最も適切な組合せを下表から一つ選べ。

なお、作業にあたっては、風下の人を避難させる、飛散又は漏えいした場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する、作業の際には必ず保護具を着用する、風下で作業しない、廃液が河川等に排出されないように注意する、付近の着火源となるものは速やかに取り除く、などの基本的な対応を行っているものとする。

(物質名) 液化アンモニア (液体アンモニア)、クロロホルム、酢酸エチル、硝酸

- a 少量の場合、土砂等に吸着させて取り除くか、又はある程度水で徐々に希釈した後、水酸化カルシウム (消石灰)、炭酸ナトリウム (ソーダ灰) 等で中和し、多量の水を用いて洗い流す。
- b 多量の場合、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、液の表面を泡等で覆い、できるだけ空容器に回収する。そのあとは多量の水を用いて洗い流す。
- c 土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、空容器にできるだけ回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。洗い流す場合には中性洗剤等の分散剤を使用して洗い流す。
- d 少量の場合、漏えい箇所を濡れむしろ等で覆い、遠くから多量の水をかけて洗い流す。

	a	b	c	d
1	液化アンモニア	クロロホルム	酢酸エチル	硝酸
2	硝酸	クロロホルム	液化アンモニア	酢酸エチル
3	硝酸	酢酸エチル	クロロホルム	液化アンモニア
4	クロロホルム	硝酸	酢酸エチル	液化アンモニア
5	酢酸エチル	液化アンモニア	硝酸	クロロホルム

問4 1

次の劇物とその用途の正誤について、正しい組合せを下表から一つ選べ。

	劇物		用途
a	塩化水素	－	紙・パルプの漂白剤、殺菌剤
b	蔞酸 <sup>しゅう</sup>	－	木、コルク、綿、藁製品等の漂白剤
c	硫酸	－	乾燥剤、肥料の製造、石油の精製

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

問4 2

次の劇物とその用途について、正しいものの組合せを1～5から一つ選べ。

	劇物		用途
a	硅弗化ナトリウム <sup>けいふつ</sup>	－	釉薬 <sup>ゆう</sup>
b	メチルエチルケトン	－	金属の化学研磨
c	クロロホルム	－	セッケンの製造
d	トルエン	－	爆薬の原料

1 (a、b)    2 (a、d)    3 (b、c)    4 (b、d)    5 (c、d)



問 4 3

メタノールの毒性に関する記述の正誤について、正しい組合せを下表から一つ選べ。

- a 頭痛、めまい、嘔吐、下痢、腹痛などを起こす。
- b 視神経が侵され、眼がかすみ、失明することがある。
- c 中毒の原因として、体内で代謝され生じた、<sup>おう</sup>ぎ酸による神経細胞内での作用がある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	正	正	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

問 4 4

次の劇物とその毒性に関する記述の正誤について、正しい組合せを下表から一つ選べ。

- | 劇物          | 毒性                                                                                   |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| a 塩素        | — 吸入すると、窒息感、喉頭及び気管支筋の強直をきたし、呼吸困難に陥る。                                                 |
| b クロム酸ナトリウム | — 血液中のカルシウム分を奪取し、神経系を侵す。急性中毒症状は、胃痛、嘔吐、 <sup>おう</sup> 口腔・ <sup>くう</sup> 咽喉の炎症、腎障害である。 |
| c トルエン      | — 吸入した場合、短時間の興奮期を経て、深い麻酔状態に陥ることがある。                                                  |

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

問 4 5

次の物質の貯蔵方法や取扱上の注意事項等に関する記述について、該当する物質名との最も適切な組合せを下表から一つ選べ。

(物質名) 過酸化水素水、四塩化炭素、ホルマリン、メタノール

- a 少量ならば褐色ガラス瓶、大量ならばカーボイなどを使用し、3分の1の空間を保って貯蔵する。一般に安定剤として少量の酸類の添加は許容されている。
- b 亜鉛又は錫メッキをした鋼鉄製容器で保管し、高温に接しない場所に保管する。ドラム缶で保管する場合には雨水が漏入しないようにし、直射日光を避け冷所に置く。本品の蒸気は空気より重く、低所に滞留するので、地下室など換気の悪い場所には保管しない。
- c 引火しやすく、また、その蒸気は空気と混合して爆発性混合ガスを形成するので、火気に近づけない。
- d 低温では混濁するので、常温で保存する。

	a	b	c	d
1	メタノール	過酸化水素水	四塩化炭素	ホルマリン
2	ホルマリン	過酸化水素水	メタノール	四塩化炭素
3	ホルマリン	過酸化水素水	四塩化炭素	メタノール
4	過酸化水素水	四塩化炭素	ホルマリン	メタノール
5	過酸化水素水	四塩化炭素	メタノール	ホルマリン

問46

次の記述について、正しいものの組合せを1～5から一つ選べ。

- a 一酸化鉛は、黒色の粉末又は粉状で、水にはほとんど溶けない。
- b 四塩化炭素は、火災などで強熱されるとホスゲンを生成する恐れがある。
- c 過酸化水素は、分解が起こると激しく水素を生成する。
- d 塩化水素は、吸湿すると、大部分の金属を腐食して水素ガスを発生する。

1 (a、b)    2 (a、c)    3 (b、c)    4 (b、d)    5 (c、d)

問47

次の記述について、正しいものの組合せを1～5から一つ選べ。

- a 水酸化カリウム水溶液は、爆発性でも引火性でもないが、アルミニウム、<sup>すず</sup>錫、<sup>鉛</sup>亜鉛などの金属を腐食して水素ガスを発生する。
- b <sup>けいふつ</sup>硅弗化ナトリウムは、酸と接触すると<sup>ふつ</sup>弗化水素ガス及び<sup>ふつ</sup>四弗化ケイ素ガスを発生する。
- c 重クロム酸カリウムは、橙赤色の結晶であり、強力な還元剤である。
- d メチルエチルケトン<sup>は</sup>、無臭の液体である。

1 (a、b)    2 (a、d)    3 (b、c)    4 (b、d)    5 (c、d)

問48

次の記述について、正しいものの組合せを1～5から一つ選べ。

- a キシレンには3種の異性体があり、引火しやすい。
- b アンモニアは、エタノール、エーテルのいずれにも不溶である。
- c ホルムアルデヒドは、空気中の酸素によって一部酸化され、酢酸を生じる。
- d 濃硫酸は、水と急激に接触すると多量の熱を発生し、酸が飛散することがある。

1 (a、b)    2 (a、d)    3 (b、c)    4 (b、d)    5 (c、d)

問49

次の記述について、正しいものの組合せを1～5から一つ選べ。

- a 塩素は、黄緑色の気体であり、水素又は炭化水素（特にアセチレン）と爆発的に反応する。
- b 酢酸エチルは、果実様の香気のある液体である。
- c 酸化第二水銀（別名 酸化水銀（Ⅱ））は、白色の粉末で水に易溶である。
- d 水酸化ナトリウムは、水と酸素を吸収する性質が強い。

1 (a、b)    2 (a、d)    3 (b、c)    4 (b、d)    5 (c、d)

問50

次の物質の識別方法に関する記述について、正しいものの組合せを1～5から一つ選べ。

- a 蓼酸<sup>しゅう</sup>の水溶液に、過マンガン酸カリウム溶液を加えると、赤紫色の沈殿が生じる。
- b メタノールをサリチル酸と濃硫酸とともに熱すると、芳香のあるアセチルサリチル酸を生成する。
- c 四塩化炭素は、アルコール性の水酸化カリウムと銅粉とともに煮沸すると、黄赤色の沈殿を生じる。
- d クロロホルムのアルコール溶液に、水酸化カリウム溶液と少量のアニリンを加えて熱すると、不快な刺激臭を放つ。

1 (a、b)    2 (a、d)    3 (b、c)    4 (b、d)    5 (c、d)

#####